

# アヴィエスマリーナーお住まい拝見レポート

友達にも勧めたいモミの木の床

「触れるとほつとして  
優しい気持ちになれます」

## 次世代の住まい CASE 61

宮城県仙台市  
Sさんの家

取材日／2019年11月



目隠しにもなる縦格子と合わせて焼き杉の黒い板塀をイメージした門壁は、和モダンな外観と調和して室内への期待を誘う



モミの木の香り、色、感触が気に入ったご夫妻は、ソファに座るのでなく、大きいピースクッションに身体を預け、モミの木の感触を楽しみながらくつろぐ。テレビボード、ニッチなど収納家具は造作で、ほとんど家具は置かない。照明は埋め込みで開放感を演出

翌年にマイホームを叶えたSさん夫婦。「土地と家は持った方がいい」という、S主人のお父さんのアドバイスも後押ししています。初めて見学したモデルハウスがアヴィエスマリーナー。営業担当の村上さんに「暖かいですよ」と声をかけられて中に入り、「説明が丁寧で人柄がいい。信頼できそう」と一社にしほって検討し、2ヶ月後に契約しました。

週末は丸一日かけて設計担当といつくり打ち合わせを行なうなかで、奥さまのこだわりは、家事がしやすい動線、ランドリールーム、水廻りの設備で、S主人は縁側と広縁などがある日本伝統の和室やトイレの丸窓などでした。また、家具はウォールナットで統一するなど、カラー・コード・メモートも吟味して、モダンハウスのように素敵で落ち着くマイホームが完成しました。なかでも一番のお気に入りはモミの木の床。モミカフェにも参加したS主人は、友人が遊びに来るとモミの木の良さを力説し、奥さまに「もういいんじゃない」と言われるほど。モミの木を生かしたいからと、床にはなるべく家具や物を置かないようにして過ごしています。「モミの木の良さは言葉にできませんが、不思議と気持ちが優しくなること。家に帰ると落ち着きます」とS主人が穏やかな笑顔で語ってくれました。

初めてお会いしたのは2018年12月初旬。とても天気の良い日でした。S夫妻はお打合せが始まってからも、私が店の入口にお迎えにあがると、逆に毎回暑い感じのお出迎えをしてくださったり、海外ドラマのお話で盛り上がり上がったり等、終始笑い声の絶えない時間を共有させて頂きました。また、他県からS主人様の両親もお越しいで、お打合せがまた一段と盛り上がったのを記憶しております。建物の完成後には奥様の家族も遠方からお越しく、两家の両親とお会いできました。S夫妻の新居をお褒めになられていた事が、担当させて頂けて本当に良かったです」と、S主人は、S夫婦が「当たり」とより思えた瞬間でした。お住まいの前を通る度、「主人様のお父様の和室へのこだわりを語る声」と、それに合わせて聞こえてくる柔らかい声が甦ります。担当させて頂きまして本当にありがとうございました。これからもどうぞ宜しくお願ひいたします。

**担当より一言**  
営業  
村上 浩幸



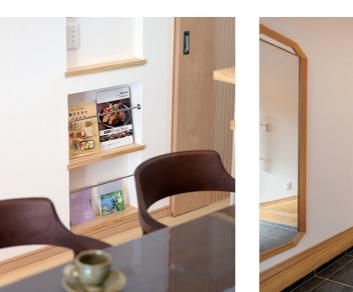
ダニやカビの発生を防ぐ和紙畳、吊り押入れ、雪見障子を採用したモダンな和室。隣接する広縁には収納スペースを設けゆとりをプラス。ローテーブルはモミの木の一枚板



2階廊下は屋根の勾配を生かした斜め天井が開放的。設計の提案で表しの梁を採用



ゲストも使用する1階のトイレは円形容器や手洗い台、小石を敷くなど「和」にこだわった



キッチン近くに見せて収納する本棚とスイッチニッチを作成



モミの木が香る玄関。正面のデザインウォールはライトアップで印象が変化



床の間の立体感あるデザインウォールが落ち着きを演出



(右上・右下)シンクやカウンターなどパツを選んで組み合わせたオシャレな洗面化粧台(左)キッチン、脱衣所、浴室が一直線の短い動線で家事効率グンと効率的に



料理や食事をしながら夫婦の会話を弾む対面式キッチン。奥さまが使いやすいシンク、作業カウンター、コンロの並びやコンセントの位置、収納スペースを吟味。背面の高い位置に窓を設けるなど採光にも配慮した



CASE61:宮城県仙台市 Sさんのお宅

家族構成:ご主人、奥さま  
延床面積:約36坪、3LDK  
こだわり設備:モミの木の床、モミの木の天井(一部)、スピンドル



縦と横の直線を組み合わせた和風モダンな外観。黒とイエローのツートンカラーは色の配分が絶妙

### 便利な家事動線と快適な水廻り



脱衣所とは別に設けたランドリールーム。洗濯物にアイロンをかけて畳む作業場所としてカウンターを造作。床と天井に調湿・消臭作用があるモミの木を採用



(右上・右下)シンクやカウンターなどパツを選んで組み合わせたオシャレな洗面化粧台(左)キッチン、脱衣所、浴室が一直線の短い動線で家事効率グンと効率的に